

PRESS

2019年2月14日

**2018年度の予備調査結果は家具部門の回復を確認。  
2019年景気低迷の予測は重荷に。**

FLA Eventi社研究室による予備結果の推計によると、イタリアの木製家具産業の生産は、地政学的リスクによる輸出量減少の懸念があったにもかかわらず、木工部門全体では、2018年度の生産高は2017年度比1.8%増の回復を記録した。

経済の景気低迷の予測により、2019年はほぼ全ての部門の輸出見通しが不安定なままだ。成長と規模拡大の可能性が最も有望な市場であるアメリカと中国は、今後数年間イタリアにとって特に興味深い市場となるだろう。輸入全体に対するイタリアの割当量は、米国（世界最大の輸入国）が2.5%、中国が18.4%。2つの大きく異なる市場だが、競合他社と比較して利便性よりむしろ製品の品質と位置付けへの関心が一致している。

2018年を振り返ると、イタリアの消費の全体像は、他の主要経済国（米国やカナダなど）よりも低く、景気回復していないものの、イタリア国家統計局（ISTAT）が記録したように前年比0.7%増を記録した。2007年以降、家具と家電製品の消費は2015年の低迷のピークからの回復にも関わらず依然として前期比12.5%マイナスを示している。これは需要の構造的変化であり、このギャップを回復することはできない。イタリア国家統計局（ISTAT）によると、過去10年間の消費支出額は実質的に減少し、耐久財の消費に直接影響を与え節約する能力も減少した。

全体としてマクロシステム家具の国内市場向け生産量は2017年度比3.1%増を記録、輸出についても0.8%の上昇が見られた。

**Federlegno Arredo Eventi SpA**  
*Ufficio stampa e comunicazione*  
Foro Buonaparte, 65 • 20121 Milano  
Tel +39 02 8060 41  
Fax +39 02 8060 4392  
press@federlegnoarredo.it  
[www.federlegnoarredo.it](http://www.federlegnoarredo.it)

Reg. impr./C.F. e P.IVA 06987590152  
Rea/CCIAA Milano 1130298  
cap. soc. € 4.750.000 i.v. da unico socio

また、家具部門の総生産高も前年度比2%増、輸出が1.6%増を記録、主に米国への輸出が市場第2位となっている。オフィスシステムの輸出は大きく伸びた2017年から減少したものの、イタリアの生産高2.9%の増加を吸収する国内市場（13億ユーロを超える総生産高に対して8億4200万ユーロ）で埋めている。

バスルーム部門においても輸入高の成長から同様の傾向が見られる。

22億ユーロの照明システムは、輸出の減少にも関わらず、国内市場での売上高が14億ユーロ(5.7%増)を記録し、2017年度と比較して生産高が上昇した。

一般的に、特に中国からの製品の輸入の影響は減少しており、国内市場は国内製品をよりターゲットにしている。

\* 暫定的な結果は、イタリア国家統計局（ISTAT）が発表した2018年1月～9月期の輸出入に関するデータと内部調査に基づいている。

**Salone del Mobile.Milano Japan Press PR 山本幸 [yuki@milanosalone.cm](mailto:yuki@milanosalone.cm)**

Press Office Federlegno Arredo Eventi

Andrea Brega – [andrea.brega@federlegnoarredo.it](mailto:andrea.brega@federlegnoarredo.it) 02/80604629

Chiara Sirianni – [chiara.sirianni@federlegnoarredo.it](mailto:chiara.sirianni@federlegnoarredo.it) 02/80604614